



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アルマード 上場取引所 東
コード番号 4932 URL <https://www.almado.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 史朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤 博雅 TEL 03(4334)1126
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,746	18.9	222	—	223	—	153	—
2023年3月期第2四半期	3,150	27.8	△130	—	△130	—	△91	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	15.96	15.94
2023年3月期第2四半期	△9.30	—

(注) 2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,840	1,887	49.2
2023年3月期	3,671	2,332	63.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,887百万円 2023年3月期 2,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	19.5	960	15.4	950	13.6	646	10.4	67.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,394,000株	2023年3月期	10,394,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	781,159株	2023年3月期	799,642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,600,923株	2023年3月期2Q	9,829,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行等に伴い、行動制限や入国制限が緩和されてインバウンド需要が増えるなど、経済活動は正常化に向けて緩やかな回復が期待されました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰による物価高、世界的な金融引き締めの影響などにより景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社は3つの経営ビジョンの下（※1）、卵殻膜美容液の更なる認知度向上を狙った新たなテレビCMを放映しましたが、直販（EC）の新規顧客獲得数については、前年同期比で減少しました。しかしながら、前年の定期顧客基盤の拡大及び定期継続率の上昇が奏功し、売上高は前年同期比で増加しました。また、外販（OEM販売）においても、出荷が前年同期比で好調に推移しました。他方、TV通販においては放映時期の後ズレや放映の曜日、時間帯等の影響を受け、前年同期を下回りました。販売費及び一般管理費については、顧客獲得時の広告宣伝費が抑制されたことで、売上高の増加率に比して販売費及び一般管理費の増加率は緩やかに推移しました。

その結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,746,850千円（前年同期比18.9%増）、営業利益222,913千円（前年同期は130,588千円の営業損失）、経常利益223,026千円（前年同期は130,789千円の経常損失）、四半期純利益は153,250千円（前年同期は91,413千円の四半期純損失）となりました。

※1・先進諸国に到来する高齢化社会において、人々の健康、若さ、そして美しさの維持・向上による“生活の質”の向上という根源的なニーズに、“卵殻膜”を通じて貢献する。

- ・卵殻膜の多機能な効果及び効能を科学的に解明し、常にユニークで最高品質の商品開発にこだわり、それを世界に提供する。
- ・“卵殻膜”で、美容と健康分野において、新しい価値観を浸透させる。

なお、当社は卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の販売チャネル別の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減額 (千円)	前年同期比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
TV通販	619,591	19.7	564,552	15.1	△55,039	91.1
外販 (一般流通)	176,568	5.6	183,215	4.9	6,647	103.8
外販 (OEM販売) ※2	708,764	22.5	917,604	24.5	208,840	129.5
直販（EC）	1,646,063	52.2	2,081,477	55.6	435,414	126.5
合計	3,150,987	100.0	3,746,850	100.0	595,862	118.9

※2 OEM販売額のうち、インターネット販売を主としているOEM先への売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は3,703,324千円となり、前事業年度末と比較して205,706千円増加しました。これは主に、受取手形が125,923千円、売掛金が242,854千円、商品が84,784千円、前払費用が117,242千円増加し、現金及び預金が387,022千円減少したことによるものです。固定資産は136,766千円となり、前事業年度末と比較して36,870円減少しました。これは主に、工具、器具及び備品が6,096千円増加し、差入保証金が10,069千円、繰延税金資産が26,368千円減少したことによるものです。

以上の結果、総資産は3,840,091千円となり、前事業年度末と比較して168,836千円増加しました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は1,912,037千円となり、前事業年度末と比較して611,281千円増加しました。これは主に、短期借入金が900,000千円、未払金が33,584千円増加し、買掛金が124,325千円、未払法人税等が205,827千円減少したことによるものです。固定負債は40,599千円となり、前事業年度末と比較して2,394千円増加しました。これは、退職給付引当金が2,872千円増加し、リース債務（長期）が477千円減少したことによるもので

す。

以上の結果、負債合計は1,952,636千円となり、前事業年度末と比較して613,675千円増加しました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産は1,887,454千円となり、前事業年度末と比較して444,839千円減少しました。これは主に、その他資本剰余金が4,667千円増加し、繰越利益剰余金が470,382千円（配当金支払623,633千円、四半期純利益153,250千円）減少したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、387,022千円減少し1,001,321千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益223,026千円、売上債権の増加額368,778千円、前払費用の増加額95,778千円、仕入債務の減少額124,325千円、法人税等の支払額240,359千円等により665,771千円の支出となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7,226千円、敷金及び差入保証金の返還による収入10,070千円により、2,843千円の収入となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入1,500,000千円、短期借入金の返済による支出600,000千円、リース債務の支払による支出461千円、配当金の支払額623,633千円により275,905千円の収入となりました。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年8月14日付「2024年3月期第1四半期決算短信」で公表いたしました業績予想から修正の必要性はないものと判断しております。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,343	1,001,321
受取手形	378,295	504,219
売掛金	629,147	872,002
商品	861,101	945,885
貯蔵品	212,433	189,319
前払費用	13,784	131,027
その他	14,510	59,548
流動資産合計	3,497,617	3,703,324
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	18,499	17,611
工具、器具及び備品（純額）	35,024	41,120
リース資産（純額）	1,619	1,214
有形固定資産合計	55,142	59,946
無形固定資産		
商標権	1,126	1,000
ソフトウェア	24,938	19,827
無形固定資産合計	26,064	20,828
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,661	40,292
差入保証金	10,069	-
敷金	15,688	15,688
その他	10	10
投資その他の資産合計	92,429	55,991
固定資産合計	173,637	136,766
資産合計	3,671,254	3,840,091

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	308,491	184,165
短期借入金	550,000	1,450,000
リース債務	930	947
未払金	102,536	136,120
未払費用	16,008	27,268
未払法人税等	253,729	47,901
未払消費税等	35,875	17,794
預り金	2,805	3,626
賞与引当金	21,626	26,079
その他	8,752	18,133
流動負債合計	1,300,756	1,912,037
固定負債		
リース債務	964	486
退職給付引当金	37,240	40,112
固定負債合計	38,204	40,599
負債合計	1,338,961	1,952,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	110,000	110,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	3,560	8,227
資本剰余金合計	3,560	8,227
利益剰余金		
利益準備金	27,500	27,500
その他利益剰余金		
別途積立金	110,000	110,000
繰越利益剰余金	2,907,305	2,436,922
利益剰余金合計	3,044,805	2,574,422
自己株式	△826,072	△805,196
株主資本合計	2,332,293	1,887,454
純資産合計	2,332,293	1,887,454
負債純資産合計	3,671,254	3,840,091

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,150,987	3,746,850
売上原価	1,069,877	1,234,738
売上総利益	2,081,110	2,512,111
販売費及び一般管理費	2,211,698	2,289,198
営業利益又は営業損失(△)	△130,588	222,913
営業外収益		
受取利息	4	5
助成金収入	1,630	500
雑収入	2,253	2,267
営業外収益合計	3,887	2,773
営業外費用		
支払利息	1,200	1,966
自己株式取得費用	2,784	-
為替差損	44	143
雑損失	60	550
営業外費用合計	4,089	2,660
経常利益又は経常損失(△)	△130,789	223,026
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△130,789	223,026
法人税、住民税及び事業税	265	43,408
法人税等調整額	△39,641	26,368
法人税等合計	△39,376	69,776
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,413	153,250

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△130,789	223,026
減価償却費	8,363	7,658
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△624	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,840	4,452
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,275	2,872
受取利息	△4	△5
助成金収入	△1,630	△500
支払利息	1,200	1,966
売上債権の増減額 (△は増加)	240,943	△368,778
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△317,992	△61,670
前払費用の増減額 (△は増加)	△74,866	△95,778
前払金の増減額 (△は増加)	652	△6,384
預け金の増減額 (△は増加)	△14,362	△10,560
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,014	△124,325
未払金の増減額 (△は減少)	54,960	33,584
未払費用の増減額 (△は減少)	△20	11,260
未払又は未収消費税等の増減額	△69,491	△18,080
その他	△5,955	△22,011
小計	△251,487	△423,273
利息の受取額	22	5
利息の支払額	△1,394	△2,144
助成金の受取額	1,630	-
法人税等の支払額	△215,031	△240,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	△466,260	△665,771
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△7,226
無形固定資産の取得による支出	△1,905	-
敷金及び差入保証金の返還による収入	-	10,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	2,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,020,000	1,500,000
短期借入金の返済による支出	△340,000	△600,000
リース債務の支払による支出	△444	△461
自己株式の取得による支出	△415,119	-
新株予約権の行使による収入	1,230	-
配当金の支払額	△399,848	△623,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,182	275,905
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△602,347	△387,022
現金及び現金同等物の期首残高	1,175,740	1,388,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	573,392	1,001,321

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年7月28日に当社取締役及び従業員に対し、譲渡制限付株式報酬としての自己株式20,208株の処分を実施いたしました。これにより、資本剰余金が4,667千円増加し、自己株式が20,875千円減少しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本剰余金が8,227千円、自己株式が805,196千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

現下の業績動向と内部留保の充実度を鑑み、資本効率の向上を図るため。

(2) 自己株式の取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

普通株式

②取得する株式の総数

300,000株（上限）

③株式の取得価額の総額

300,000千円（上限）

④取得の期間

2023年11月15日～2023年12月26日

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付